

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証プライム)
問合せ先 取締役 大内 秀雄
(<https://w-scope.co.jp/ir/contact.html>)

営業外損益及び特別損失の計上に関するお知らせ

2026年1月期(2025年2月1日~2026年1月31日)における、営業外損益及び特別損失の計上について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外損益及び特別損失の計上について

科目	金額	計上理由
営業外収益		
助成金収入	114 百万円	第3四半期において106百万円計上していましたが、主に研究開発関連補助金として114百万円計上しております。
受取補償金	150 百万円	第3四半期において149百万円計上していましたが、取引先の余剰在庫等に対する受取補償金として150百万円計上しております。
営業外費用		
支払利息	238 百万円	第3四半期において181百万円計上していましたが、連結子会社の金融機関からの借入金に対する支払利息として238百万円計上しております。
持分法による投資損失	6,331 百万円	第3四半期において4,131百万円計上していましたが、主に持分法適用会社であるW-SCOPE CHUNGJU PLANT CO., LTD.の決算報告に基づき6,331百万円計上しております。
為替差損	192 百万円	第3四半期において197百万円計上していましたが、主として子会社の決算期末日(2025年12月末)時点の当社グループの保有する外貨建債権債務を同日の為替相場で評価したことで発生した評価損として192百万円計上しております。
特別損失		
減損損失	579 百万円	連結子会社であるW-SCOPE KOREA CO., LTD.において減損の兆候が認められたため減損損失を579百万円計上しております。
関係会社株式売却損	468 百万円	持分法適用会社であるW-SCOPE CHUNGJU PLANT CO., LTD.の株式を一部売却したことに伴い売却損を468百万円計上しております。

2. 業績に与える影響

この営業外損益及び特別損失の計上による業績への影響等については、本日(2026年3月19日)公表の「2026年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上